

カンキツグリーニング病持ち込み診断の ご協力をお願い

沖縄県ではカンキツグリーニング病まん延防止のため、持ち込み診断を実施しています（無料）。

カンキツグリーニング病とは？

世界的に重要なかんきつの病害。感染すると数年後に枯れてしまう。
病気の広まり方：ミカンキジラミが媒介、病気の木からの取り木・接ぎ木
病気の治療方法：なし。感染源となる病気の木は速やかに伐採処分する。

ミカンキジラミ

成虫



2mm



幼虫



カンキツグリーニング病の症状

下の図のように、木の一部の枝が枯れたり、
右の図のような特徴のある葉が見られます。

枝枯れ



主脈の黄化



まだら退緑



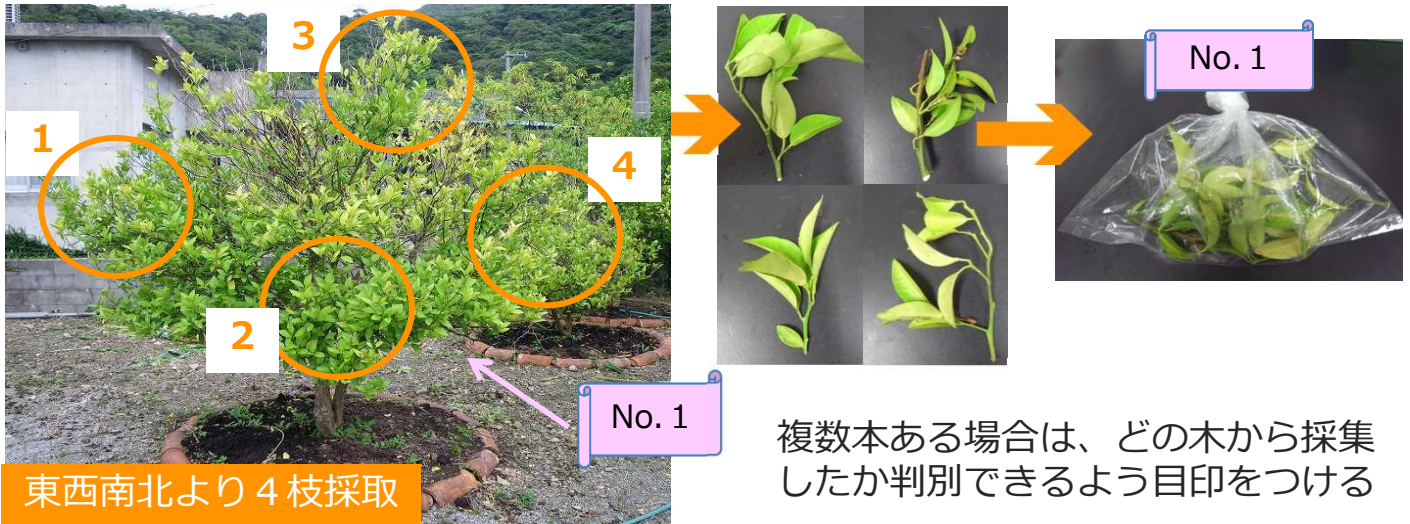
脈間黄化



黄化

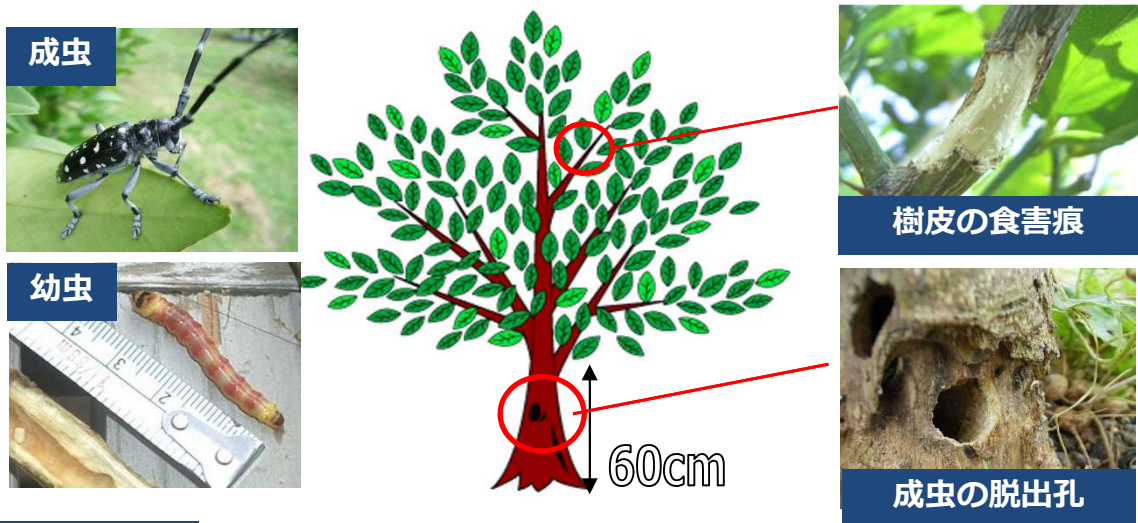
持ち込みサンプルの採集方法

4方向から症状のある葉を含む枝を1本ずつ採取し、まとめて袋にいれる。
持ち込みはお住まいの市町村役場や下記の機関にお願いします。



ゴマダラカミキリの被害

ゴマダラカミキリもカンキツグリーンング病と同様の症状を引き起こします。
サンプル採取の際は、以下のような被害がないかも確認してください。



カミキリムシ対策

- ①脱出孔に専用殺虫剤をまいた後、肥料等をまき、樹勢を高める。
- ②4月までに株元から高さ60cmまで、ネット等を巻く（産卵防止）

持ち込み診断の依頼やお問い合わせは下記にお願いします。

- ①市町村役場農林水産担当課・最寄りのJA営農振興センター
- ②農業改良普及センター 中部: 098-894-6521 南部: 098-889-3515
農林水産振興センター 北部: 0980-52-2752 宮古: 0980-72-3149 八重山: 0980-82-3497
- ③病害虫防除技術センター 本所: 098-886-3880 宮古: 0980-73-2634 八重山: 0980-82-4933